



進藤かねひこ氏が講演会を開催

“島根の幸せ”が“未来の日本の幸せ”につながる！

都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問の進藤かねひこ氏が、4月21日から23日の3日間、県内9会場で講演会を開催されました。

講演会スタートとなった出雲会場（斐川町「斐川文化館」）には約250名の市民が詰めかけ、進藤氏の講演に聞き入っていました。

進藤氏は「魅力ある元気な農産漁村をめざして」と題し、「現在約71億人とされている世界の人口は、2050年には25億人増加し96億人になると予想されている。そうした中、わが国の食料自給率は、食料供給の諸条件（農地・水・人・技術など）と多面的機能の喪失などの要因で39%と低水準にあり、将来の食料事情を考えると、食料供給の諸条件の整備維持が重要となってくる。その食料供給の大本であり、また、日本の命綱でもある農林水産業の基盤を守り抜くには、平成22年に大幅削減された農業農村整備関係予算を、削減前の水準まで復活させることが必要である。現在、島根県のみならず、全国で農地の集積・集約によるほ場の大区画化や中山間地域での耕作条件改善のための基盤整備等の要望が多数出されているが、予算削減以降、新規採択要望地区の順番待ちや事業実施中の地区の工期延期などの影響が生じている。こうした状況を一日も早く解消するためには、本日お集まりいただいた皆様の生の声を国に届けることが重要であり、そうした活動が予算の復活にもつながってくる。」と、農林水産業の予算の確保の重要性などについて講演をされました。



講演する進藤かねひこ氏＝21日・出雲市斐川文化館



多くの市民が詰めかけた出雲会場＝21日・出雲市斐川文化館

講演会は、出雲会場のほか、雲南、安来、松江、太田、県央、浜田、津和野、益田の各会場で開催されました。

■進藤かねひこ氏が講演会を開催	1
■第19回しまねの農村景観フォトコンテスト入賞作品決定	2
■水田・畑作経営所得安定対策等支援事業について	3
■全国土地改良大会“石川大会”のご案内	4
■今月の主な予定	4

「第19回しまねの農村景観フォトコンテスト」入賞作品決定

島根の農山村の現状や魅力を県民の皆さんに広くPRするため「農山村からのメッセージ」をテーマに、島根県と水土里ネット島根が共催で「第19回しまねの農村景観フォトコンテスト」を実施したところ、県内外の188名から570点（風景部門223点、人物部門185点、施設部門58点、イベント部門104点）の作品応募がありました。去る2月25日に審査会が行われ、最優秀賞1点、部門賞4点、島根県緑化推進委員会会長賞1点、審査委員特別賞6点、入選7点、佳作7点、山陰フジカラー賞1点、農地保全管理賞1点が選ばれました。

今回入賞された作品は6月2日（木）～6月8日（水）の間、益田市の島根県芸術文化センター「グラントワ（多目的ギャラリー）」に展示され、表彰式は6月5日（日）午後1時30分から同会場にて行われます。

このフォトコンテストは今年度で20回目を迎えます。毎年500点以上の応募があり、県内外の方々にフォトコンテストがかなり浸透してきたように感じます。写真をきっかけとして都市住民が農村へ足を運び、農村地域ならではの景観やイベントを体験されている方も増えてきていると思います。今後もフォトコンテストを通じて農村地域が活性化していくよう県と協力し普及・啓発を行っていききたいと思います。

「グラントワ」での展示を皮切りに今年度も県内各地で巡回作品展を予定しています。今後イベント等での展示のご希望があればご連絡ください。第1回から19回までの入賞作品は本会のホームページでご覧いただけます。

ホームページアドレス【<http://www.shimanedoren.or.jp/fotoco.html>】

第19回 上位入賞作品



最優秀賞
「池干の日」
青戸 繁／撮影場所 松江市



部門賞（風景）
「朝の河川敷」
田坂 将／撮影場所 出雲市



部門賞（人物）
「愛犬」
吉崎 佳慶／撮影場所 益田市



部門賞（施設）
「朝光」
行長 好友／撮影場所 出雲市



部門賞（イベント）
「トンドさん」
鶴島 勇／撮影場所 出雲市

水田・畑作経営所得安定対策等支援事業について

土地改良事業は、農業生産の最も重要な基盤である土地基盤（ほ場、用水路、農道など）の整備を行うもので、県内でも要望が多いところですが、農産物価格の低下等の影響により農家の経営は圧迫される中、事業の断念や、事業に係る償還が困難な地域が生じています。

水田・畑作経営所得安定対策支援事業（通称：支援資金）は、農家負担金軽減支援対策事業の中の1事業で、農家の負担軽減と計画的償還の一層の推進を図るため、土地改良事業の農家負担額の5/6以内で無利子融資を行う事業です。

事業の概要

- ▶事業主体：全国土地改良事業団体連合会
- ▶対象事業：国営・県営・団体営土地改良事業（かんがい排水事業、中山間地域総合整備事業など）
※既に無利子融資（担い手育成農地集積事業など）を受けていたり、他の補助事業を導入していたりすると、対象とならない場合があります。
- ▶貸付期限：25年以内（最長10年の据置期間を含む）
- ▶貸付利率：無利子
- ▶認定期間：平成32年度まで
※認定申請はH32年度までですが、資金の借入は限度額以内ならH32年度以降も可能です。
- ▶採択要件：目標年度までに、担い手への農用地利用集積率が一定以上増加すること
※担い手：水田・畑作経営所得安定対策対象者、人・農地プランの中心経営体など。
- ▶申請主体：土地改良区 及び 市町村
- ▶借入主体：土地改良区 及び 農業協同組合

ある土地改良区の土地改良事業では農家負担金の償還が¥60,000,000残っている地区において、支援資金を導入したところ、**¥6,000,000近くの利息が軽減されました！**

対象となる事業について知りたい、採択要件を詳しく知りたい、どのくらい利息が減額となるのか知りたいなど、支援資金の詳細については、下記問い合わせ先までご相談ください。

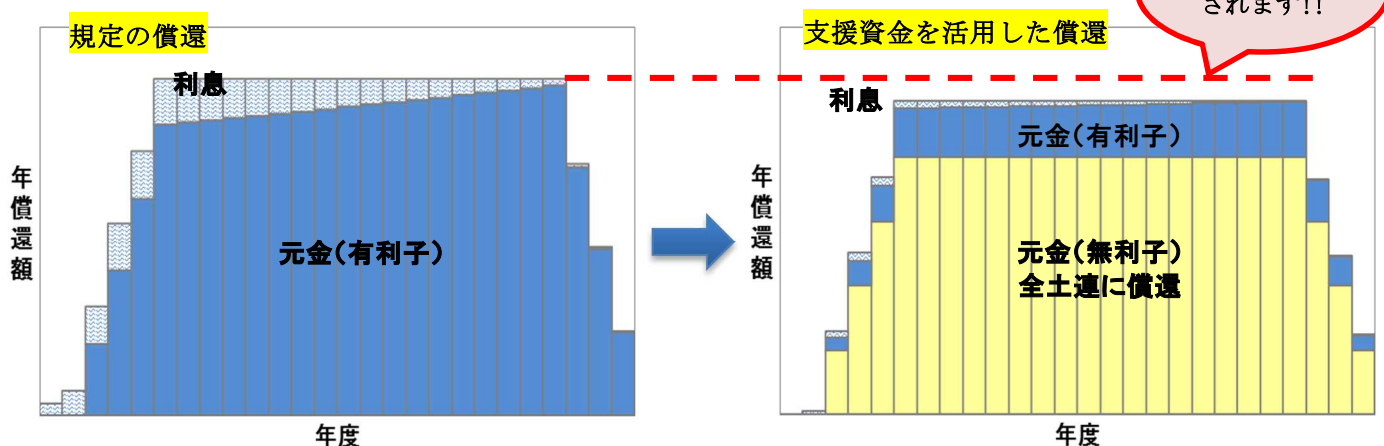


図 償還のイメージ

問い合わせ先：水土里ネット島根 水土里推進グループ 管理指導担当
(TEL：0852-32-4141)

全国土地改良大会”石川大会”のご案内

今年で第39回を迎える全国土地改良大会が、10月25日石川県で開催されます。

本会の下記の日程で参加を予定しておりますので、会員の皆様も多数ご参加いただきますようお願いいたします。

なお、詳細な参加行程等につきましては、6月初旬に改めてご案内いたします。

＝ 開催概要 ＝

- 1 開催日時 平成28年10月25日(火) 大会式典 13時から
- 2 開催場所 石川県「いしかわ総合スポーツセンター」
- 3 本会行程 10月24日(月)～26日(水) 2泊3日
※利用交通機関は、全行程「貸切バス」(予定)
- 4 募集人員 50名(予定)

【お問い合わせ先】 水土里ネット島根／総務企画担当

■今月の主な予定

開催日	行事等	開催地
5月26日(木)	平成28年度第1回農地・水・環境保全推進協議会理事会・通常総会	県土連
5月26日(木)	平成28年度第1回県土連役員会	県土連
5月26日(木)	平成28年度農業農村整備事業研修会・意見交換会	県土連
5月29日(日)	「田んぼの学校」田植えコース	雲南市
5月30日(月)	農業農村整備の集い	東京都



水土里ネット島根 (島根県土地改良事業団体連合会)

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
ホームページ <http://www.shimanedoren.or.jp/> メール smndoren@shimanedoren.or.jp